

「市立野洲地域医療センター」ニュース Vol.11

11月の竣工、翌年3月の開院に向けて
工事の進捗状況などをお知らせします！



令和8年9月27日

＜お問合せ先＞

野洲病院新病院整備課

小篠原 1094 番地

☎ 077-587-6141

◆◆ 「市立野洲地域医療センター」の全容が出現!! ◆◆

外装を覆っていたメッシュシートや足場が撤去され、ついに、新しい「市立野洲地域医療センター」の全容が現れました。現在は内部工事が行われており、11月の竣工（完成）に向けて順調に工事が進んでいます。



（8月1日撮影。「市立野洲地域医療センター」のサインは、工事完成後に見ることができます。）



（6階リハビリテーションセンター）

（9月4日撮影）



（4階入院病棟）

（9月4日撮影）

◆◆ 新病院の外来診療科 ～18の診療科目～ ◆◆

新しい地域医療センターでは、現在の市立野洲病院と同じ18の診療科目を予定しています。外来診療室は、新病院の1階と2階に配置し、2階へはエレベータ（3基）で移動します。

現状、予定している診療科は次のとおりです。

《内科系診療科》

総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓・人工透析内科、脳神経内科

《外科系診療科》

外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科

《その他診療科》

眼科、産婦人科*、小児科、放射線科、麻酔科 *婦人科疾患のみ対応

《「野洲市病院事業審議会」委員公募のお知らせ》 ―― 市民から委員を1名募集します ――

◆任期：令和8年11月1日から2年間

◆応募・選考方法：令和8年10月15日（必着）で、住所、氏名、連絡先、生年月日と、「新地域医療センターに期待すること」をテーマにした800字以内の文書を、新病院整備課に郵送又はメールで提出してください。

◆資格：満18歳以上（R8.10.1時点）の市内在住者で、国・地方公共団体の議員又は常勤職員でない方

◆委員に選定された場合、裏面に記載のとおり病院事業審議会を開催しますので、ご出席をお願いします。

〒520-2331 野洲市小篠原 1094 番地 野洲病院／新病院整備課 Email：chiikiiryuu@city.yasu.lg.jp

◆◆『整形外科とリハビリテーションに優位性を持つ、地域の中核病院』

市民のみなさんの健康な毎日を支えます ◆◆

新しい地域医療センターでは、外来の診療科目に掲げる 18 の専門診療科が相互に連携して患者さんの健康を支えています。その中で、整形外科については、滋賀医科大学の関係医局との強い連携を活かし複数の専門医を確保することにより、脊椎内視鏡を用いた手術を身近な当院で*受けていただけます。今回は「脊椎専門外来」をご案内します。

* 併存症など診療上の総合的なリスク判断によっては大学病院等を紹介することがあります。

せき つい

脊椎専門外来

毎週木曜日 9:00~11:30

◆◆このような症状・疾患でお困りの方◆◆

○椎間板ヘルニア

○脊柱管狭窄症

○脊椎すべり症

○脊柱側弯症

○頸髄症

○胸髄症

○神経根症

○黄色靱帯骨化症

○後縦靱帯骨化症 など

脊椎 内視鏡手術

※すべての患者さんに適応できるものではありません

◆ 従来の手術より小さな傷で、
身体への負担が小さく、
比較して早期の回復が見込めます



担当医：森 幹士

- ◆市立野洲病院長特別補佐
- ◆滋賀医科大学特任教授
- ◆整形外科 脊椎外科チーフ

受診・お問合せ

市立野洲病院 整形外科

☎077-587-1332

(自動音声案内は"1")



https://www.yasu-hp.jp/

歴史の井戸辺 医事にまつわる野洲の歴史散策 第9回

医師としての北村宗龍を求める声は各地から寄せられた。豊臣秀吉の五奉行の一人、前田玄以から招へいされたことは前に見たとおりである。玄朔(二代目・曲直瀬道三)からは私塾・啓迪院の講師の依頼もあった。これらの勧誘は、宗龍のような才能を、歴史の表舞台で活躍させようとする呼び声だったと指摘されている。



永原御殿跡から新病院を望む (R8.3.14)

【参考文献】

大谷雅彦編著『北村宗龍 埋もれていた近江の医聖』
野洲町史編纂委員会編『野洲町史 通史編』

しかし、宗龍がそれらの誘いに応えた記録はない。孫の宗雪はその理由を、宗龍が「栄利」を好まない性格だったからだとしている。では、「栄利」でなければ何を、宗龍は求めたのだろうか。

宗龍は晩年、野洲の北村にて儒学の書物を読んで過ごしたという。前に見た通り、儒学(朱子学)と医学は別物ではなかった。宗龍の師・曲直瀬道三にとって医学とは社会的使命を成すための手段であり、その使命の根拠が儒学(朱子学)の重んじる「仁」であった。宗龍が儒学の書物を読んだのは、道三の教えをより深く理解し実践するためだったといえる。地域を医療で支えていく。それが、宗龍が自らの使命として選んだ道であった。

≪病院事業審議会開催・傍聴のご案内≫

●日時：令和8年11月27日(金) 午後2時～4時 ●場所：野洲市総合体育館(1階 会議室)

●議題：市立野洲地域医療センターの経営概要、市立野洲病院からの患者移送計画等

※ お申込みなしで傍聴していただけます。会場の関係でご入場ができない場合はご容赦ください。